

ドイツの養豚農場で アフリカ豚熱 (ASF) が発生！

【概要】

- ポーランドとの国境沿いドイツ東部ブランデンブルグ州において家畜豚におけるアフリカ豚熱 (ASF) が発生しました。
- 同州では昨年9月以降、野生イノシシにおけるASF発生が確認されており、2021年7月16日までに1,273件 (ドイツ全体では合計1,561件、全て野生イノシシ) の発生が確認されていますが、これまで家畜豚での発生はありませんでした。
- 当局の発表によれば、同州の3農場 (シュプレー・ナイセ地区の有機農場とメルキッシュ・オーダーランド地区の小規模農場) の家畜豚について、ドイツ国内の研究所で検査を行ったところ、ASF陽性。現在、発生農場の周辺に制限区域を設定する等の措置が講じられています。
- 1例目: ブランデンブルグ州 ナシュプレー・ナイセ地区 313頭飼養
- 2例目: ブランデンブルグ州 メルキッシュ・オーダーランド地区 2頭飼養
- 3例目: ブランデンブルグ州 メルキッシュ・オーダーランド地区 4頭飼養

自分の農場を守るため 飼養衛生管理基準遵守等の再徹底を！

< 発生予防対策の重要ポイント (抜粋) >

(ア) 人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- 人や物の出入りの記録
- 飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、攪拌しながら90℃ 60分以上の加熱処理を徹底

(イ) 野生動物対策

- 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- 豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

※いつもと様子が違う時は、早期の通報をお願いします。

平日の時間外 (午前8時30分～午後5時15分以外) 及び休日に
連絡の必要な場合は、警備室**0573-26-1114**に電話し、

「家畜保健衛生所に緊急に連絡が必要」と伝え、
警備員が家畜保健衛生所職員におつなぎします。